



日本鋳物中子工業会
会 長 禰垣田 重春

ごあいさつ

平素は当会の活動にご協力、ご賛同頂き誠に有難うございます。

おかげさまで昨年秋に鹿児島県にて定時総会・工場見学会を開催する事ができました。懇親会では遠方の会員様、賛助会員の皆様も多数ご参加頂き、情報交換等もでき有意義な場であつ

た事と思っております。株式会社九州タブチの国分工場をはじめ上野原テクノパーク工場、有限会社エステシシステム様の御好意により、工場見学会を実施する事ができましたこと、改めて御礼申し上げます。参加者の皆様に於かれましては各々感じるものがあつた事と思います。また見聞した情報・取り組み等が皆様方の工場運営にお役立てできる事があれば幸いの事と存じます。

さて、去年はアベノミクス元年となり「経済の再生」を合言葉に様々な施策が実施されたと思いますが、我々中小企業、小規模事業者等まではその恩恵は届いていない様に感じております。景気回復なくして労働賃金の上昇はなく、円安、物価の上昇、増税等の負担のみが確実にのしかかり、景気回復だけが先行き不透明では「経済の再生」どころか、円安の影響で材料費が高くなり、製品単価は据置もしくは値下げで、気が付けば以前よりも悪くなる可能性もあり得る話しです。今年こそは「そんなことは勝手な杞憂であつた」となる様、お願いしたいものであります。我々製造業者の廻りを見渡して見れば、T P P にて環太平洋圏内の関税撤廃となれば各川下製造業者の部品の海外調達、現地工場での生産等はますます強くなる傾向にあり、国内需要は減って行く事は間違いないと思われます。国内ですら中部圏内から地方へと仕事量が流出しているのが現状です。では我々に何ができるのかを考えると、やはりそれは「技術力」ではないでしょうか。大手企業がその気になれば最新設備を海外工場へ送り、国内生産品よりも速く、安く製造する事が可能な時代です。しかし、我々が長年培ったノウハウ・技術力は簡単

には輸出出来るものではないと考えます。そこにしかない技術を金看板とし各企業の皆様がしっかり保有すること、またその技術を継承していく人材の教育・確保こそが、我々の未来であると信じております。そのためには技術力向上と日々の努力が必要不可欠となります。会員の皆様方と常に最新の情報等を共有して行きたいと思っております。有意義な活動の場となる様、努力して行く所存ですので宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご健勝を祈念いたしましてごあいさつとさせていただきます。



黒龍産業(株)建設中の新工場

黒龍産業 本社機能移管

本年 4 月を目標に西尾工場を拠点に生産活動、コールドボックス部門の事業拡大。同年 5 月に 2 台新設導入予定。

会員(賛助)訪問「株式会社ファンドリー」

去る 1 月 1 7 日、日本鋳造協会新春講演会参加の翌日に会長同行で訪問しました。同社には黒龍産業よりコールドボックス造型機が発注されておりその打合せも兼ねてのことでした。橋口社長から近くのレストランもご案内いただき歓待に感謝です。(岩間)

《株式会社ファンドリー》

〒336-0976

埼玉県さいたま市緑区寺山 1 9 4

TEL 048-878-3561 FAX 048-878-3579

<http://www.foundry-service.co.jp>



(株)ファンドリー



進捗状況の説明

人事異動発表

当会賛助会員である浪速鋳機販売(株)並びに(株)浪速製作所は平成 2 6 年 1 月 6 日を以て人事の変更を発表。現社長の河合和男氏は代表取締役会長に、現専務の寛之氏が代表取締役社長に就任。他の人事も同日付にて発表。(常務取締役 佐藤好男氏、取締役営業部長 森田雅博氏)

第 2 0 回 定時総会・工場見学会の開催

平成 2 5 年 1 1 月 8 日(金)、鹿児島県霧島市にて開催。鹿児島空港に集合し、バスにて株式会社九州タブチに向かった。鶴ヶ野社長の説明を受けたのち、国分工場の見学、そして上野原テクノパーク工場へ。着後、直ちに同社の鋳造工場、有限会社エステシシステムを見学。鶴ヶ野社長の「写真を撮って盗まれるようなものは技術じゃない」この言葉に自信と誇りを感じられた。日本で一番南に位置する鋳造工場であり、その専属である「中子工場」エステシシステム。良いも悪いも逃れられない両社の努力には頭が下がる。両社長には打合せ時から本当にお世話になり、改めて御礼申し上げます。

この見学会を通じ「何か置き土産を残して来たらどうか」と申し訳ない気持ちになった。(岩間)



(有)エステシシステム



(株)九州タブチ 国分工場にて

平成 2 5 年度補正予算案

◎ものづくり・商業・サービス革新補助金

- ①試作品・新商品の開発や生産プロセスの改善、新しいサービスや販売方法の導入など、中小企業・小規模事業者が事業革新に取り込む費用の 2 / 3 を補助
- ②金融機関から借入を行い耐用年数を経過した設備を入れ替える大規模投資（総資産の 1 5 % を超える設備投資）を行う場合に、借入額の 1 % 相当額を上限に補助

◎中小企業投資促進税制の上乗せ措置の創設

N C 旋盤など、工業会等で生産性向上に資することを証明した設備への投資を対象とした税制優遇制度について、下記①～③の上乗せ措置を創設

- ①初年度 1 0 0 % 償却できるようになる
- ②個人事業主や資本金 3 0 0 0 万円以下の小規模な事業者が税制控除を選択する場合、控除割合が 7 % から 1 0 % になる
- ③資本金 3 0 0 0 万円超 1 億円以下の中小企業も税額控除（7 %）を選択できるようになる

◎少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例の延長

3 0 万円未満の全ての減価償却資産（建物、機械装置、器具備品、工具。ソフトウェア等）を取得した際に、初年度 1 0 0 % 償却ができる。

詳しい情報は中小企業庁ホームページや、中小企業庁が委託して運営する支援ポータルサイト「ミラサポ」にて。

【中小企業庁】<http://www.chusho.meti.go.jp/>

【ミラサポ】<https://www.mirasapo.jp/>

各地の動向

【静岡県シェルモールド工業会】

平成 2 6 年 1 月 3 0 日に新年懇親会を開催。静岡県においては、経営者の高齢化や仕事量の減少などで年々会員数が減少しているが、一方では 2 代目経営者も増えている。

今年は会の設立から 2 0 年以上が経過し、立ち上げ当初に比べて会員同士の交流が薄れがちなことも否めず、いまいちど会員同士の工場見学や技術交流などの必要性を再確認し、今年は静岡独自で見学会の催しなどを計画しようと氣勢を上げた。

【三重県シェルモールド工業会】

平成 2 6 年 2 月 2 2 日に第 3 9 回定期総会を開催。役員改選では田代会長をはじめ全員留任。愛知県鋳物中子工業会とは、4 0 年近い付き合いとなっている。



◆編集後記◆

情報をお寄せ下さい。

会員の皆様のご意見・ご希望をお待ちしています。又、年会費の納入をお願い致します。

事務局